

2020年 安全報告書



2020年 安全報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

〈目次〉

1 ごあいさつ	P-1
2 基本方針	P-2
3 事故等の発生状況と再発防止策	P-3
(1) 鉄道運転事故	
(2) 災害(地震・台風・暴風雨・落雷など)	
(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)	
(4) インシデント	
(5) 行政からの指導等	
4 輸送の安全を確保するための取り組み	P-4
(1) 安全対策のための設備等の改善	
(2) 安全教育	
(3) 異常時対応訓練	
5 安全管理体制	P-6
(1) 輸送の安全を確保するための体制図	
(2) 役職及び役割	
6 沿線の皆さまとの連携	P-7
(1) 踏切事故防止キャンペーン	
(2) 水間鉄道「安全教室」	
(3) 交通安全号出発式	
7 ご連絡先	P-10

1 ごあいさつ

ご利用のお客さまならびに沿線の皆さまへ

いつも水間鉄道をご利用いただきありがとうございます。

当社の鉄道事業に対しまして、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当社ではお客さまの安全を第一に考え、安心・安定した輸送の提供を最重要方針として掲げ、全社員が安全最優先の原則のもと、輸送の安全を確保するため、鉄道事業者として、輸送の安全・安心を継続していくために、全社員が一丸となって輸送の安全確保に取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組、安全の実態について、自らを振り返ると共に広くご理解をいただくために公表しています。

皆さまからのお声を輸送の安全に役立てるよう努めてまいります。

ぜひ、積極的なご意見をいただきますようお願いいたします。

水間鉄道株式会社

代表取締役社長 藤本 昌信

2 基本方針

- ① 一致協力して事故の防止に努め、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動しすみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3 事故等の発生状況と再発防止策

(1) 鉄道運転事故

2019年度での運転事故はありませんでした。

次年度も引き続いてお客さまに安全・安心してご利用いただけますよう事故防止に努めてまいります。

(2) 災害(地震・台風(暴風雨)・落雷等

2019年度は、災害等により以下のとおり運休等が発生いたしました。

落雷による停電での運休(2本)

(3) 輸送障害

2019年度は、以下のとおり30分以上の遅延や運休につながる輸送障害が発生しました。

踏切道での落輪(車)による運休(2本)

(4) インシデント

2019年度は、国土交通省へのインシデント報告はございません。

(5) 行政による指導等

国土交通省(近畿運輸局)による保安監査を受けました。

4 輸送の安全を確保するための取り組み

(1) 安全対策のための設備等の改善

項目	設備名	内容
線路設備	道床・まくら木交換	曲線部の老朽化した道床及び コンクリート枕木化
電気設備	電路設備 踏切設備	トロリー線張替 踏切障害検知器用直流 定電圧電源装置更新
駅設備	照明設備	駅舎のLED化
車両設備	定期検査	1001-1002号車

安全対策については、お客さまに安全・安心・安定してご利用いただけるよう設備の安全対策を計画的に進めて、安全性向上に努めてまいります。

(2) 安全教育

当社ではお客さまの安全を確保するため、春・秋の交通安全運動、安全運転推進運動・年末年始輸送の安全総点検に合わせて、安全指導を実施しています。

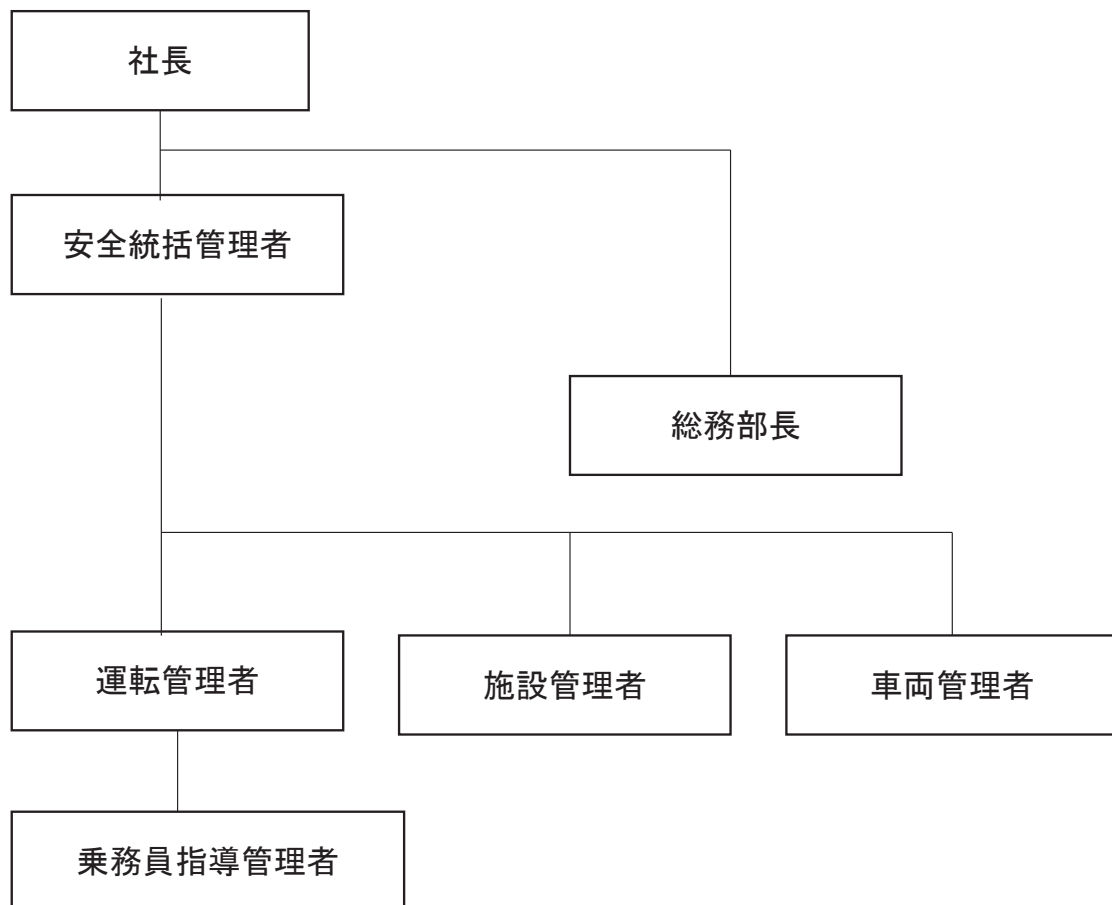
また、他社での事故情報などを共有し、当社での事故防止へ向けた教育材料として活用しています。

(3) 異常時対応訓練

2019年度においては運転保安設備の異常時対応訓練、遮断桿折損時対応訓練などを実施いたしました。また、大阪880万人訓練にて、実際の故障や事故、災害を想定した訓練を計画・実施いたしました。

今後も異常時において社員が安全で確実な取り扱いが行えるよう訓練を実施してまいります。

5 安全管理体制図



(2) 役職及び役割

社長	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮下で運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下で運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮下で施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮下で車両に関する事項を統括する。
総務部長	投資、予算、要員計画に関する事項を統括する。

6 沿線の皆さまとの連携

(1) 踏切事故防止キャンペーン

毎年春・秋の交通安全運動実施期間中に踏切事故防止キャンペーンを実施しています。

踏切事故の防止のため、地元警察署、交通安全協会、貝塚市役所等、皆様のご協力のもと、踏切での一旦停止をお願いしています。

2019年度の踏切遮断桿折損数は9件発生いたしました。無理な踏切横断は事故のもととなりますので、絶対におやめください。



(2) 水間鉄道「安全教室」

沿線の園児を対象に「安全教室」を実施しています。安全に利用していただくマナーを中心に実際の車両を用いて開催しました。



(3) 交通安全号出発式

全国交通安全運動実施に際し、地元警察署と連携し、期間中の交通事故防止キャンペーンの一環として、地元の園児を招いた「交通安全号」の出発式を実施いたしました。



7 ご連絡先

安全報告書に対するご感想、当社の安全に関する取り組み等に対するご意見は下記までお願いします。

水間鉄道株式会社

総務部

TEL 072-422-4567

FAX 072-431-0249

(8:45～17:35 土・日・祝 年末年始を除く)